

## 第2 公営企業の業務の状況

### 1 長野県病院事業の業務の状況

#### (1) 事業の概要

平成19年度後期における県立5病院の利用人員は、入院15万3,254人、外来21万1,548人、計36万4,802人で前年度同期に比較し、15,819人の減少となりました。

収益については、入院収益と外来収益を合わせ77億7,673万8,697円で前年同期に比較し1億2,083万7,810円の減収となりました。

また、平成19年度後期における介護老人保健施設2施設の利用人員は、入所1万6,459人、通所703人、計1万7,162人で、前年同期に比較して809人の増加となりました。

収益については、入所と通所を合わせ1億6,889万7,365円で前年度同期に比較し409万1,012円の増収となりました。

病院の施設整備については、須坂病院感染症病棟等整備事業のほか、木曾病院特色化推進事業ほか改修工事などを実施するとともに、各病院の医療機器等の整備充実に努めました。

平成19年度後期の実績は、次表のとおりです。

利用状況

(平成19年10月1日～平成20年3月31日)

病院名	診療科目	病床数	患者数				
			入院		外来		延べ人員計
			延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県立須坂病院	内科、神経内科、小児科、外科、循環器科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、形成外科、呼吸器外科	338	44,108	241	67,426	368	111,534
長野県立駒ヶ根病院	精神科、神経科	235	27,209	149	13,756	114	40,965
長野県立阿南病院	内科、小児科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、麻酔科、精神科、リハビリテーション科	184	19,919	109	33,158	274	53,077
長野県立木曾病院	内科、神経内科、小児科、外科、整形外科、形成外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、麻酔科、消化器科、リハビリテーション科、精神科、循環器科	259	37,266	204	71,275	589	108,541
長野県立こども病院	小児科、小児外科、心臓血管外科、循環器科、眼科、整形外科、形成外科、脳神経外科、皮膚科、産科、耳鼻いんこう科、神経科、放射線科、麻酔科、リハビリテーション科、精神科、泌尿器科	200	24,752	135	25,933	214	50,685
計		1,216	153,254	838	211,548	1,559	364,802

(平成19年10月1日～平成20年3月31日)

介護老人保健施設名	入所定員	利用者数				
		入所		通所		延べ人員計
		延べ人員	1日平均	延べ人員	1日平均	
長野県阿南介護老人保健施設 アイライフあなん	50	8,041	44	226	2	8,267
長野県木曾介護老人保健施設 アイライフきそ	50	8,418	46	477	4	8,895
計	100	16,459	90	703	6	17,162

(2) 経理の状況

損益計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

1 医業収益	147億1521万8051円	
2 医業費用	<u>178億4090万814円</u>	
営業損益		△ 31億2568万2763円
3 医業外収益	41億815万2977円	
4 医業外費用	<u>13億3197万2333円</u>	27億7618万644円
5 介護老人保健施設収益	4億4634万357円	
6 介護老人保健施設費用	<u>4億4620万8129円</u>	<u>13万2228円</u>
経常損益		△ 3億4936万9891円
7 特別利益	1億4287万431円	
8 特別損失	<u>1億6006万2951円</u>	<u>△ 1719万2520円</u>
当年度純損益		<u>△ 3億6656万2411円</u>
前年度繰越欠損金		<u>△ 111億6914万87円</u>
当年度未処理欠損金		<u>△ 115億3570万2498円</u>

貸借対照表

(平成20年3月31日)

資産の部

1 固定資産	465億4722万5521円	
2 流動資産	41億9062万1133円	
3 繰延勘定	<u>11億1302万6845円</u>	
資産合計		<u>518億5087万3499円</u>

負債の部

4 固定負債	5億1721万9350円	
5 流動負債	<u>20億2530万1260円</u>	
負債合計		25億4252万610円

資本の部

6 資本金	313億3081万9377円	
7 剰余金	295億1323万6010円	
8 欠損金	115億3570万2498円	
資本合計		<u>493億835万2889円</u>
資本負債合計		<u>518億5087万3499円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成20年3月31日）

ア 資 産	518億5087万3499円
イ 企 業 債	310億8471万2103円
ウ 一 時 借 入 金	0円

(4) 平成20年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

営業関係については、5病院の年間延べ患者数は、入院31万7,300人、外来44万5,300人、また、介護老人保健施設の年間延べ利用者数は、入所3万3,200人、通所1,400人を見込み、収入で194億7,922万2千円、支出で207億6,643万2千円を計上しました。

建設改良関係については、駒ヶ根病院整備事業5,011万1千円のほか、こども病院総合情報システム更新事業2億6,279万円などを計上しました。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

第1款 病院事業収益	194億7922万2千円
第1項 医業収益	151億4932万3千円
第2項 医業外収益	38億8469万2千円
第3項 介護老人保健施設収益	4億4465万5千円
第4項 特別利益	55万2千円

支 出

第1款 病院事業費用	207億6643万2千円
第1項 医業費用	189億3697万9千円
第2項 医業外費用	13億688万2千円
第3項 介護老人保健施設費用	4億9949万5千円
第4項 特別損	2307万6千円

(資本的収入及び支出)

収 入

第1款 資本的収入	20億9051万8千円
第1項 企業債	8億5050万円
第2項 他会計負担金	12億4001万8千円

支 出

第1款 資本的支出	28億9600万1千円
第1項 建設改良費	8億5060万4千円
第2項 企業債償還金	20億2479万7千円
第3項 投 資	2060万円

イ 経営の方針

公共の福祉と地域住民の医療確保に努め、企業の経済性との調和を図り、計画的、効率的に運営し、経営の健全化に努めます。

2 長野県電気事業の業務の状況

(1) 事業の概要

平成19年度後期の電気事業は、既設の美和発電所以下14発電所（最大出力9万9,050キロワット）の運転管理を行い、合計1億5,078万9,633キロワットアワーの電力を供給しました。また、既設発電所の改良工事等を実施しました。

なお、供給電力量及び電力料金収入の状況は、次の表のとおりです。

区分 月別	供給電力量 (A)	目標電力量 (B)	比率 (A)/(B)×100 (%)	料金収入 (定額・従量併用制)
前期計	2億989万8644kwh	2億3397万1000kwh	89.7	16億1732万6947円
10月	4092万8006kwh	3396万8000kwh	120.5	2億7704万6319円
11月	2775万9235kwh	2583万5000kwh	107.4	2億6044万3136円
12月	1923万3709kwh	2452万7000kwh	78.4	2億4970万973円
1月	2093万5970kwh	2143万5000kwh	97.7	2億5186万1497円
2月	1245万3480kwh	2299万1000kwh	54.2	2億4115万7884円
3月	2947万9233kwh	3130万7000kwh	94.2	2億6263万1015円
後期計	1億5078万9633kwh	1億6006万3000kwh	94.2	15億4284万824円
合計	3億6068万8277kwh	3億9403万4000kwh	91.5	31億6016万7771円

(2) 経理の状況

損益計算書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

1 営業収益	31億48万2472円	
2 営業費用	<u>24億7038万2618円</u>	
営業利益		6億3009万9854円
3 営業外収益	1億5365万9618円	
4 営業外費用	<u>6億2754万1241円</u>	<u>△ 4億7388万1623円</u>
経常利益		1億5621万8231円

5 特別損失	<u>1億 145万5801円</u>	<u>△ 1億 145万5801円</u>
当年度純利益		5476万2430円
前年度繰越利益剰余金		<u>2億2635万1530円</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>2億8111万3960円</u>

貸借対照表

(平成20年3月31日)

資産の部

1 固定資産	262億2837万9453円	
2 流動資産	52億8610万3813円	
3 繰延勘定	<u>25万6500円</u>	
資産合計		<u>315億1473万9766円</u>

負債の部

4 固定負債	9億4101万8107円	
5 流動負債	<u>3億7845万9337円</u>	
負債合計		13億1947万7444円

資本の部

6 資本金	242億9369万 575円	
7 剰余金	<u>59億 157万1747円</u>	
資本合計		<u>301億9526万2322円</u>
負債資本合計		<u>315億1473万9766円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成20年3月31日現在）

ア 資産	315億1473万9766円
イ 企業債	124億8873万4088円
ウ 一時借入金	0円

(4) 平成20年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

美和発電所以下14発電所に係る供給目標電力量を3億9,403万4千キロワットアワーと見込み、これに伴う電力料金等の収益の合計33億1,408万3千円を計上しました。

また、水力発電費等維持管理に要する費用の合計32億8,079万1千円を計上しました。

(イ) 建設関係

電力の安定供給を図るため、既設発電所の改良を計画的に実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

第1款 電気事業収益	33億1408万3千円
第1項 営業収益	33億1408万1千円
第2項 営業外収益	2千円

支 出

第1款 電気事業費用	32億8079万1千円
第1項 営業費用	26億1355万8千円
第2項 営業外費用	6億6723万3千円

(資本的収入及び支出)

収 入

第1款 資本的収入	1216万1千円
第1項 工事受託金	1130万5千円
第2項 固定資産売却代金	85万6千円

支 出

第1款 資本的支出	13億758万8千円
第1項 建設改良費	7925万1千円
第2項 受託工事費	1155万 千円
第3項 企業債償還金	12億1678万7千円

イ 経営の方針

美和発電所以下14発電所の運転管理については、諸設備の整備点検に万全を期すとともに、効率的な発電計画により収入の増加を図り、安定した経営に努めます。

### 3 長野県水道事業の業務の状況

#### (1) 事業の概要

平成19年度後期の水道事業の概要は、次のとおりです。

ア 末端給水事業は、前期に引き続き長野市ほか2市1町の給水区域に、1,878万7,572立方メートルを給水するとともに、安定給水の確保を図るため施設の改良工事及び老朽管更新対策事業等を実施しました。

月別 \ 区分	給水戸数	有収水量	水道料金
前期計	—	948万4511m <sup>3</sup>	16億9999万5997円
10月	6万9891戸	173万4194m <sup>3</sup>	3億853万8668円
11月	6万9857戸	150万8363m <sup>3</sup>	2億7082万8636円
12月	6万9781戸	160万3538m <sup>3</sup>	2億8792万1408円
1月	6万9676戸	147万5627m <sup>3</sup>	2億6621万8264円
2月	6万9696戸	157万4465m <sup>3</sup>	2億8357万5288円
3月	6万9904戸	140万6874m <sup>3</sup>	2億5472万3602円
後期計	—	930万3061m <sup>3</sup>	16億7180万5866円
合計	—	1878万7572m <sup>3</sup>	33億7180万1863円

イ 水道用水供給事業は、前期に引き続き松本市及び塩尻市に2,963万7,225立方メートルの水道用水を供給するとともに安定供給を図るため送水施設の改良工事等を実施しました。

なお、供給量及び用水料金の状況は、次のとおりです。

月別 \ 区分	供給量	用水料金
前期計	1481万6931m <sup>3</sup>	7億3097万6652円
10月	251万561m <sup>3</sup>	1億2384万2520円
11月	242万9739m <sup>3</sup>	1億1984万7600円
12月	251万539m <sup>3</sup>	1億2384万2520円
1月	251万618m <sup>3</sup>	1億2384万2520円
2月	234万8467m <sup>3</sup>	1億1585万2680円



3 月	251万 370m <sup>3</sup>	1 億2384万2520円
後期計	1482万 294m <sup>3</sup>	7 億3107万 360円
合計	2963万7225m <sup>3</sup>	14億6204万7012円

(2) 経理の状況

損 益 計 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

1 営業収益	47億2272万2787円	
2 営業費用	<u>33億4514万3765円</u>	
営業利益		13億7757万9022円
3 営業外収益	1 億1519万8496円	
4 営業外費用	<u>9 億5340万7477円</u>	<u>△ 8 億3820万8981円</u>
経常利益		<u>5 億3937万 41円</u>
当年度純利益		<u>5 億3937万 41円</u>
当年度未処分利益剰余金		<u>5 億3937万 41円</u>

貸 借 対 照 表

(平成20年3月31日)

資 産 の 部		
1 固定資産	595億 367万1905円	
2 流動資産	33億8200万2510円	
3 繰延勘定	<u>77万3501円</u>	
資産合計		<u>628億8644万7916円</u>
負 債 の 部		
4 固定負債	8 億5974万1051円	
5 流動負債	<u>4 億 850万1628円</u>	
負債合計		12億6824万2679円
資 本 の 部		
6 資本金	392億1851万 377円	
7 剰余金	<u>223億9969万4860円</u>	
資本合計		616億1820万5237円
負債資本合計		<u>628億8644万7916円</u>

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成20年3月31日）

ア 資 産	628億8644万7916円
イ 企 業 債	278億7554万 831円
ウ 一 時 借 入 金	0円

(4) 平成20年度予算の概要及び経営の方針

ア 予算の概要

(ア) 営業関係

末端給水事業については、長野市ほか2市1町の7万282戸に年間給水量1,872万9千立方メートルを、水道用水供給事業については、松本市、塩尻市に年間供給量2,956万5千立方メートルを予定し、水道料金等の収益の合計51億5,998万8千円を計上しました。

また、浄水費等維持管理に要する費用の合計46億1,993万8千円を計上しました。"

(イ) 建設関係

末端給水事業については、安定給水と安全性確保のため、送・配水施設等の整備を進めるとともに、地震・事故にも強い施設とするため、老朽管更新対策事業を計画的に実施します。

水道用水供給事業については、安定供給と安全性確保のため、浄水施設整備等を実施します。

なお、予算の内容は、次のとおりです。

(収益的収入及び支出)

収 入

第1款 水道事業収益	51億5998万 8千円
第1項 営業収益	51億3939万 千円
第2項 営業外収益	2059万 8千円

支 出

第1款 水道事業費用	46億1993万 8千円
第1項 営業費用	37億4663万 5千円
第2項 営業外費用	8億7330万 3千円

(資本的収入及び支出)

収 入

第1款 資本的収入	25億9981万 2千円
第1項 企業債	18億1000万 千円
第2項 負担金	7億8981万 2千円

支 出

第1款 資本的支出	55億9127万 9千円
第1項 建設改良費	30億8488万 4千円
第2項 企業債償還金	24億7939万 5千円
第3項 出資金	2700万 千円

#### イ 経営の方針

末端給水事業については、安定給水を図るため効率的な管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努めるとともに、健全経営に努めます。

水道用水供給事業についても、安定供給を図るため効率的な管理運営に努めます。

また、末端給水事業及び水道用水供給事業ともに危機管理体制の強化に努めます。

#### 4 長野県観光施設事業の業務の状況

##### (1) 事業の概要

出資先である（社）長野県地域開発公団の清算を行いました。

##### (2) 経理の状況

#### 損 益 計 算 書

(平成19年4月1日から平成20年3月31日まで)

1 営業外収益	4560円	4560円
経常利益		4560円
2 特別損失	2192万3166円	△ 2192万3166円
当年度純損失		2191万8606円
前年度繰越欠損金		39億7701万9952円
当年度未処理欠損金		39億9893万8558円

#### 貸 借 対 照 表

(平成20年3月31日)

#### 資 産 の 部

1 固定資産	2237万1618円	
2 流動資産	6025万5033円	
資産合計		8262万6651円

#### 負 債 の 部

3 固定負債	1287万6151円	
負債合計		1287万6151円

#### 資 本 の 部

4 資本金	40億6868万9058円	
5 剰余	△ 39億9893万8558円	
資本合計		6975万500円
負債資本合計		8262万6651円

(3) 資産、企業債及び一時借入金の現在高（平成20年3月31日現在）

ア 資 産	8262万6651円
イ 企 業 債	0円
ウ 一 時 借 入 金	0円

(4) そ の 他

観光施設事業は平成19年度末で事業を終結し、残余財産は一般会計に引き継ぎました。